

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公表番号】特表2007-524687(P2007-524687A)

【公表日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-553399(P2006-553399)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/415 (2006.01)

A 2 3 J 1/14 (2006.01)

C 0 7 K 1/34 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

A 2 3 K 1/18 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/415

A 2 3 J 1/14

C 0 7 K 1/34

A 2 3 K 1/16 3 0 4 C

A 2 3 K 1/18 1 0 2 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年4月8日(2015.4.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 3】

【表 8】

表 4 A

Burcon NutraScience カノーラ濃縮液アミノ酸のまとめ				
分析：POS結果：2004年1月5日				
アミノ酸分子量 MW	アミノ酸	BW-AL022-I02-03A #1 #20,576	2003年12月15日 ベンチスケール #21,681	g/100g 乾燥物質
133.1	アスパラギン酸	7.04	7.46	7.25
119.1	トレオニン	2.87	2.82	2.85
105.1	セリン	3.31	3.48	3.40
204.2	トリプトファン	1.28	1.38	1.33
146.1	グルタミン酸	20.10	21.70	20.90
75.1	グリシン	4.59	4.92	4.76
89.1	アラニン	3.75	4.02	3.89
121.1	シスチン	2.03	2.47	2.25
117.1	バリン	4.90	5.15	5.03
149.2	メチオニン	1.57	1.84	1.71
131.2	イソロイシン	3.67	4.04	3.86
131.2	ロイシン	6.66	7.37	7.02
181.2	チロシン	2.11	2.07	2.09
165.2	フェニルアラニン	3.63	4.01	3.82
155.2	ヒスチジン	2.07	2.08	2.08
146.2	リシン	3.97	4.67	4.32
174.2	アルギニン	6.45	6.77	6.61
115.1	プロリン	6.56	6.83	6.70
合計		86.56	93.08	89.82
				乾燥重量基準 (DWB)

2種のサンプルはアミノ酸分析ではなく粗タンパク質 (N x 6、25) に基づいたタンパク質単離物であることを留意されたい。
アミノ酸分析では通常、グルタミンおよびアスパラギンの脱アミノにより窒素の損失を生じる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0096

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0096】

【表11】

表6

硬骨魚類のアミノ酸必要量対Burconの濃縮液 g/100gタンパク質

アミノ酸	サケ科の魚 ¹	ナマズ ¹	コイ ¹	BW-AL022- 102-03A #1	2003年 12月16日 ベンチスケール トライアル
アルギニン	4.2	4.3	4.4	7.5	7.3
ヒスチジン	1.6	1.5	2.4	2.4	2.2
イソロイシン	2.0	2.6	3.0	4.2	4.3
ロイシン	3.8	3.5	4.7	7.7	7.9
リシン	4.8	5.0	6.0	4.6	5.0
トレオニン	2.0	2.1	4.2	3.3	3.0
トリプトファン	0.6	0.5	0.8	5.7	5.5
バリン	2.2	3.0	4.1	5.7	5.5
メチオニン+ システイン	2.4	2.3	3.5	4.1	4.7
フェニルアラニン+ チロシン	5.3	4.8	8.2	6.6	6.5

¹D.P. Bureau & C.Y. Cho, Fish Nutrition Research Laboratory, Dept. of Animal & Poultry
Science, University of Guelph, Guelph, Ontario, Canada

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0097

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0097】

【図1】ベンチスケール実験HPLC-SECクロマトグラムで、Aはベンチスケール抽出液、BはベンチスケールDF透過液、CはベンチスケールDF透析単離物のクロマトグラムを示す。

【図2】BW-AL022-I02-03A#1C500HPLC-SECクロマトグラムで、Aは2003年9月19日のI02単離物、Bは2003年12月18日のI02単離物のクロマトグラムを示す。